

# 手稲緑地通信

第4号

平成20年12月発行

発行：手稲区土木部  
維持管理課公園緑化係  
編集：石塚計画デザイン事務所

## 貴重な自生植物を守り育てるための 秋の保全作業を行いました。

### ～富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園～

手稲区内の貴重な自生植物を守り育てている3つの公園では、地域の皆さんにご協力いただき、恒例の秋の保全作業を行いました。

#### 富丘西公園 スズラン保全区域の秋の大掃除



－10月26日(日)、参加者約40名－

スズランの群生地がある富丘西公園では、毎年秋に枯れ草を刈り取り運び出す作業を行っています。

この日は、春から作業を行ってきた地域の皆さんが集まり、今年最後の作業となる保全区域の大掃除を行いました。また、作業後の「お疲れさま会」では、焼き芋を食べながら、今年の作業を振り返りつつ来年の抱負を語り合いました。

今年の取り組みを2ページでご紹介します。

#### 星置緑地 秋のササ刈り作業



－10月19日(日)、参加者17名－

多様な植生を守り育てる取り組みを行っている星置緑地では、「星置緑地みどりのサポーター」の皆さんと、秋の緑地の手入れを行いました。

3年前から継続して行っているササ刈りによって、ササは大きく衰退してきていますが、今後増えるおそれのある帰化植物の抜き取り作業も行いました。

また、作業後には来年の取り組みについての意見交換を行いました。

今年の取り組みを3ページでご紹介します。

#### 稲穂ひだまり公園 カタクリ群生地の秋のササ刈り作業



－10月26日(日)、参加者3名－

稲穂ひだまり公園では、周辺町内会の皆さんと、カタクリの保全作業を行いました。

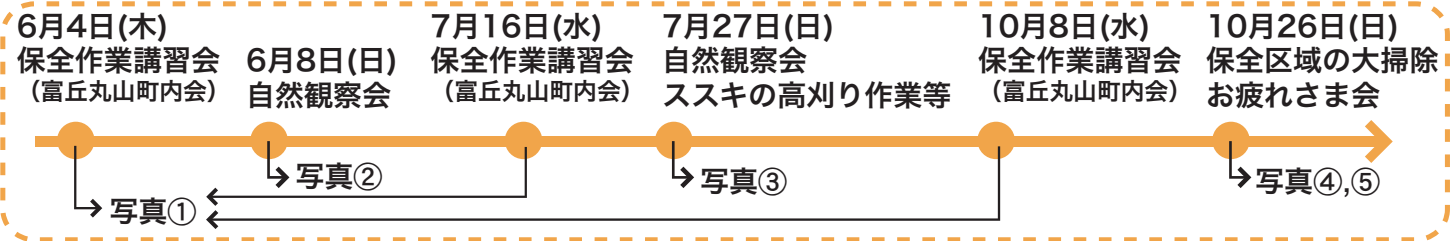
雨の中、水を吸ってずっしりと重くなった落ち葉をかき集めて運び出し、ササを丁寧に刈り取りました。年々ササの勢力は弱まり、茎が細く柔らかくなり、その数も少なくなってきました。

今年の取り組みを3ページでご紹介します。



富丘西公園のスズラン保全活動は、今年で5年目を迎えました。地域の皆さんのご協力による保全作業により、スズランを圧迫していた植物が衰退し、スズランが元気を取り戻してきています。

保全作業では、特に次の2点に注意しています。1. ススキを含む他の草を地際近くまで刈り取ると、勢力の強い帰化植物がいつせいに侵入する恐れがあるため、ひざの高さより低く刈らないようにする。2. 保全区域の貴重な他の植物も刈り取ってしまわないように、慎重に作業を行う。



**1** 保全作業講習会では、植物の専門家から季節ごとの作業内容や、注意点の指導を受けました。



**2** これまでの作業により、スズランの株の密度が高くなり、花数もぐんと増えました。



**3** オオアワダチソウの抜き取りと、木道付近のアキカラマツとナワシロイチゴの刈り取りも行いました。



**4** 枯れ草や枯れ枝を刈り取り、運び出した作業の後、スッキリとした保全区域（木道の右側）。



**5** 大掃除の作業の後、みんなで焼き芋を食べながら、今年の保全作業を振り返りました。



そのほか、手稲中央小学校の5年生も、総合学習の授業として、スズランの保全作業を行っています。

## 富丘西公園来年度の取り組み予定

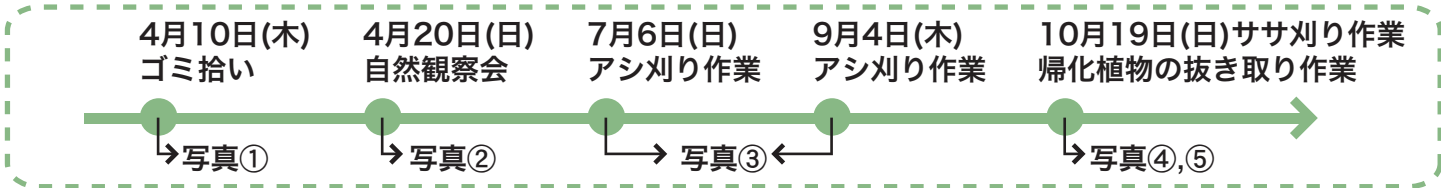
- 5月上旬      ■ 牧草類の除去作業（初めての作業となりますが、ぜひご協力下さい）
  - 6月上旬      ■ スズラン観察会（スズランと春の植物観察会）
  - 7月下旬      ■ 夏の保全作業と自然観察会（ススキ等の刈り取り作業）
  - 10月下旬    ■ 秋の大掃除会（枯れ草等の刈り取りと運び出し作業）
- ※その他、富丘丸山町内会 による保全区域の手入れ（月に1回程度）



# 星置緑地を守り育てる取り組み

2008年

現在29名の「星置緑地みどりのサポーター」の皆さんと一緒に、ミズバショウをはじめとする多様な植生を守り育てながら、より魅力ある緑地にするための取り組みを進めています。今年は、雪解け後に緑地周辺のゴミ拾いも行いました。これまで刈り取りを続けてきたアシとササの勢力が弱くなってきており、作業も楽になりましたが、今後増える恐れのある帰化植物の抜き取り作業も行っています。



星置緑地周辺のゴミ拾い。



雪解けと共に咲くミズバショウ。



緑地入口付近のアシの刈り取り。



他の植物と間違えないように、抜き取る植物をしっかりと確認。



作業後の意見交換を行い、来年の取り組みについて話し合う様子。



みどりのサポーターの皆さんは、上のマークがついた帽子をかぶり作業を行っています。

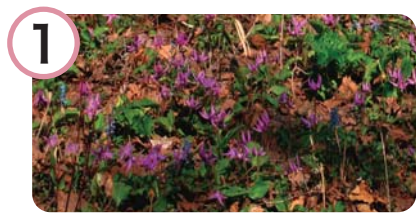
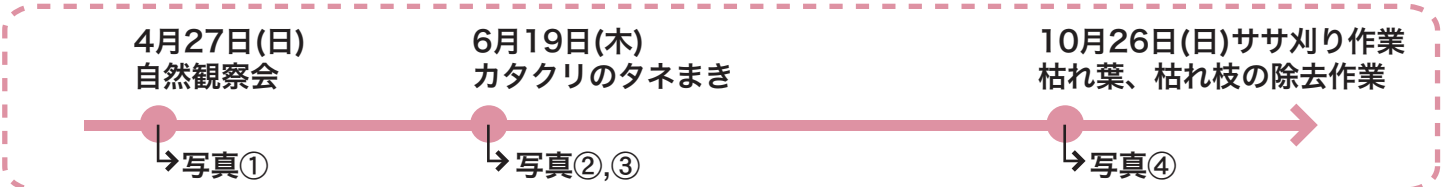
## 星置緑地 来年度の取り組み予定

- 4月中旬 ■みどりのサポーターによる緑地周辺のゴミ拾い
- 4月下旬 ■ミズバショウ観察会 (ミズバショウと春の植物観察会)
- 6月～10月 ■みどりのサポーターによる緑地の手入れ (アシ刈り、木道まわりの帰化植物の抜き取り等)

# 稲穂ひだまり公園のカタクリを守り育てる取り組み

2008年

地域の方にカタクリの魅力を知ってもらいながら、守り育てる取り組みを行っています。今年は、春の自然観察会の開催と秋のササ刈り作業に加え、6月にカタクリのタネまきも行いました。



春の訪れとともに咲くカタクリ。



カタクリのタネ。



タネまきの様子。



ササの刈り取りの様子。

## 稲穂ひだまり公園 来年度の取り組み予定

- 4月下旬 ■カタクリ観察会 (カタクリと春の植物観察会)
- 10月上旬 ■秋のササ刈り作業 (ササ刈りとリター除去作業)



# 手稲の自然に関わる活動はほかにもたくさんあります！

この通信では区民の有志の皆さんが中心となっているイキイキとした取組みもご紹介します。

## 「手稲アウトドア・クラブ」

### 月に一度、手稲山周辺の自然観察を中心とした野外活動を行っています

「手稲アウトドア・クラブ」では、1ヶ月に一度、手稲山周辺の自然観察を中心とする野外活動を行っています。会員は、主に稲穂小学校と手稲西小学校の4年生から6年生の子ども達約70名（他の学校や、会員の家族等大人の会員もいます）で、活動の企画や準備・運営は、18名の世話役が行っています。

活動内容は月によって異なりますが、例えば今年度は、

5月ー稲穂小学校裏山を歩く（春の草花や木の観察、ひだまり公園カタクリ観察）

7月ー星置川上り（水生昆虫の観察、星置の滝まで沢登り、滝つぼを間近で観察）

8月ー小樽自然の村でキャンプ（夕朝食は自炊）

10月ー手稲山登山（平和の滝コースから登山頂を目指し、自宅まで徒歩で帰る）

2月ー冬の森歩き（星置の滝・乙女の滝付近で固雪を歩き、動物の足跡確認）

などとなっています。特に重点をおいている自然観察では、野草、樹木、山菜、きのこ、昆虫、野鳥、小動物、土や石など、すべてを対象とし、目で見るだけでなく、音を聞く、触ってみる、臭いをかいでみる、時には味をみる…など、五感を通した観察を行っています。また、ネイチャークイズに答えながら散策するなど、子ども達が楽しみながら観察できるプログラムになっています。

さらに、「野草の名前の認定試験」や、二十四節気等を暗記して「制覇賞」にチャレンジするなど、子ども達は自然と触れ合う体験を通じて、自然に興味を持ち、自然に関する知識も深めています。

### 手稲山をホームグラウンドとした子ども達の活動の場をつくりたい

クラブは平成14年4月に発足しました。この年は、学校週5日制が実施され、土曜日の子どもの活動の場をどうするかが話題になっていました。そんな中、「自然体験を中心とする活動の場を作ろう！」と、稲穂金山地区の青少年育成委員である皆川國男さんが中心となって、取り組みを始めました。

活動は、手稲山をホームグラウンドとしました。活動当初から現在まで、世話役の皆さんが毎月活動日の1週間前に現地を歩き、自然観察の資料を作成しています。さらに、「活動計画は、雨が降っても台風でも、吹雪でも実施する」ことにしています。

世話役の皆さんにとっては、毎回の資料づくりや悪天候時の実施はとても大変ですが、同じ目的を持つ仲間に出会えたことや、身近なのにすばらしい自然を知ることができたことが、大きな喜びになっているそうです。

### 多くの子ども達に、体験を通して身近にある自然に親しんでほしい

子ども達は、1ヶ月に一度、自然にふれ、自分の責任で行動する活動を経験しながら、年々成長していきます。世話役の皆さんは、その姿を見守ることがとても嬉しいそうです。「環境破壊が問題になっていますが、子ども達には、単に知識として認識するだけではなく、身近な自然に親しむことをきっかけに、体験を通じて感じてほしい」と願っています。

また、稲穂金山地区をメインとするクラブの取り組みだけでは、活動範囲や人的にも限界があるため、子ども達が歩ける範囲で活動に関われるように、様々な場所でこのような取り組みが行われることが理想だと考えています。

世話役となる大人の方への指導や講習なども行っていますので、子ども達と自然に関わる活動に興味がある方は、ぜひ下記の連絡先までご連絡下さい。

【手稲アウトドア・クラブ】 代表：皆川國男 ■問い合わせ先：事務局（古川）TEL/FAX.011-695-2388



「手稲アウトドア・クラブ」の皆さん。



星置の滝を目指して沢登りをします。ずぶぬれになりながら楽しむ子ども達。



木の実などを観察しながら手稲山登山。山頂を目指してがれ場を登ります。



手稲本町市民の森にて、晩秋の自然観察（11月）。薫製づくりも行いました。



稲穂小学校裏山での冬の山歩きの様子。吹雪でも、活動は決行します。

「手稲緑地通信」第4号では、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園の今年の取り組みと、市民の皆さんによる取り組みとして「手稲アウトドア・クラブ」の活動をご紹介いたしました。来年度の観察会の開催日等につきましては、各公園の掲示板に掲載いたします。取り組みに興味や関心がある方には案内を直接お送りいたしますので、下記連絡先までご連絡ください。

今後とも取り組みへのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

連絡先：手稲区土木センター公園緑化係（電話：011-681-4011）